

上宮寺通信

第四十七号

長所と短所

皆さんは「自分の長所と短所を教えてください」と聞かれたら、どう答えますか？

短所は直すべきもの、長所は伸ばすべきもの。そう私たちは思っています。しかし、長所も短所も考えようによれば同じものの表裏の関係にあるといえるのではないのでしょうか。

例えば「頑固」という短所も、言い方を変えれば「粘り強い」という長所になる。「うるさい」というのも「元気がいい」といえます。

見方を変えれば短所も長所となるのです。そんなことを私たちに考えさせてくれる物語があります。「ひび割れ壺」というお

話を紹介したいと思います。

インドのとある村の物語。ある青年が長い天秤棒の端に二つの壺をぶら下げて、毎日水を汲みに出かけていました。

一つの壺はひびが無く、もう一つの壺はひび割れていました。ですから両方の壺いっぱい水を汲んでも、家に着く頃にはひび割れ壺の水は半分になっています。

ひびの無い壺は自分をいつも誇らしく思っていました。一方、ひび割れ壺は自分を恥じていました。

あるとき、ひび割れ壺は青年に話しかけました。「私は自分が恥ずかしい。あなたが一生懸命に水を運んでも家に着く時には半分になってしまおう。あなたに

申し訳ないと思っています」とすると青年はひび割れ壺を見てにっこり笑って言いました。「これから家に帰るから、道端に咲いている綺麗な花を見てごらん」。

ひび割れ壺は天秤棒にぶら下げられて丘を登りながら、太陽に照らされて美しく咲き誇る花々に気づきました。

そのとき青年は言いました。「道端の花に気づいたかい？その花は君の側にしか咲いていないんだ。僕は君から落ちる水に気づいて花の種を蒔いた。君は毎日この花に水を撒いてくれた。君のお陰できれいな花が咲き、毎日食卓に花を飾ることができた。君は君のまま素晴らしいんだよ」。

ひび割れて水が落ちるという短所も、花を咲かすための長所となる。私たちもそれぞれに違った個性があり、長所・短所を持っています。

否定していくような見方ではなく、肯定していくような見方が大事。この物語で伝えられることは仏様の教えに通じるものがあると思います。



◆行事案内

上宮寺の行事

上宮寺八事墓地・お盆法要

8月7日(日)

午前6時〜9時

※墓地使用者には管理費納入のお願いとともに個別にご案内させていただきます。

※荒天の場合は中止させていただくこともあります。

お盆(盂蘭盆会)法要

8月13日(土)・14日(日)

午前9時〜午後3時(両日とも)

場所・上宮寺本堂

※ご都合のつく時間にお参りください。

※行事につきましては今後の新型コロナウイルスの感染状況によって変更する場合があります。

◆話題あれこれ

○お盆(盂蘭盆会)法要を上記のとおり行わせていただきます。ご都合のつく時間にお参りください。13日、14日ともに午前9時から午後3時までです。なお、今年もお抹茶の接待は休止させていただきますのでご了承ください。

○お盆の法要では、法名を読み上げさせていただきます。専用の用紙にご記入いただきますので、メモしてきていただきますようお願いいたします。

○お参りの際は手指の消毒、マスク着用など感染予防にご協力ください。

○例年9月8日に行っていた秋季彼岸会・永代経法要は9月10日(土)午前に変更して行います。詳細は次号でお知らせいたします。

○例年よりかなり早い梅雨明けで、6月から猛暑となっており、無理をせず熱中症に気を付けながら夏を乗り切りましょう。

○仏事について、わからないことがありましたら、どんなことでもご相談ください。



【雑感】

中日ドラゴンズの根尾選手が投手へ転向となりました。大阪桐蔭で春夏連覇したスター選手として期待されての入団。しかしレギュラー獲得には至らず、4年目の今季も思うような成績を挙げられずにいました。シーズン当初は外野手で、途中から内野手となり、さらに「一番大成する可能性がある」として、立浪監督が投手転向を決断。その決断には賛否両論あります。私もどちらかという賛成できない思いがあるのですが、でも、なんとか高校時代のような輝きを取り戻してほしいと応援していきます。(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和三十九年一丁目十九番十五号

☎052-871-0547